

平成21年2月16日

第5回 奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 議 事 録

1. 開催日時 平成21年2月10日(火) 13:00~15:00

2. 開催場所 奈良国道事務所 4階会議室

3. 出席者

委員長 飯田 恭敬(京都大学名誉教授)

委員 国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所長

委員 奈良県土木部長

委員 奈良県土木部まちづくり推進局長

委員 奈良県地域振興部文化観光局長

委員 奈良県警察本部交通部長(代理:交通規制課長)

委員 奈良警察署長(代理:交通第一課長)

委員 奈良市副市長(代理:奈良市政策監)

委員 奈良市観光協会長(代理:総務課長)

事務局 奈良県土木部道路・交通環境課

国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所

4. 議 事

◆事務局より以下について説明があった。

【第4回委員会の概要について】

・第4回委員会での審議内容等の概要についての説明

【社会実験結果について】

・渋滞対策としては、①流入交通の抑制、②パークアンドライド駐車場の利用促進、③迷走車両対策について検証し、効果や課題を整理し、H21実施に向けて検討する内容を示した。

・奈良公園の魅力向上としては、①公園内の回遊性向上②公園らしい雰囲気醸成について検証し、効果や課題を整理し、H21に向けて検討する内容を示した。

◆ その後、以下の内容について審議があった。

- ・ シャトルバスと周遊バスの料金徴収については、駐車場料金として徴収する場合との比較や、乗り継ぎの場合の対応方法など、利用者の観点に立った十分な検討が必要。
- ・ シャトルバスの乗換え時間や、定時制を確保するためにはバス専用レーンの確保などの検討が必要だが、恒久的に検討する場合、平日と休日を分けて考える必要があることと、道路網整備、交通量の変化を見据えて検討する必要がある。
- ・ 情報認知媒体のデータから、短期的な施策（社会実験）として、チラシやポスターは有効であった。恒久的な施策としては、学習効果が期待できる。今回、インターネットでの認知度が多かったことは、今後将来的な広報手段として期待できる。
- ・ 駐車場予約システムの導入にあたっては、混雑ピーク時に限定するなどを考慮しながら検討することが望ましい。
- ・ 来年度の社会実験では、①事前に広報を見て公共交通機関にどれくらい転換したか、②周遊バスや歩道設置など観光地の魅力向上により来訪者がどのくらい増加するか、③滞在時間や訪問箇所数について、自動車来訪者と公共交通機関来訪者でどのくらい差があるかなど分かるような調査を検討するようお願いしたい。
- ・ 平城遷都1300年祭の交通対策について、今回の実験結果を参考に今後検討する必要がある。
- ・ ITSの活用について、具体的にはナビゲーションによる駐車場や経路案内が考えられる。現状は民間企業のシステムが先行しており、その中で奈良市内の交通情報を案内してもらいやり方がある。

以 上